

美方郡地域子育て世代の
教育、保育に関する提言書

2018年5月



美方青年会議所

理事長 坂中 直樹

2018年5月

香美町町長 浜上 勇人 殿

美方郡地域子育て世代の教育、保育に関する提言書

美方青年会議所
理事長 坂中 直樹

1. 提言書提出までの経過

昨今、但馬地域は急激な過疎化が進んでおり、美方郡に関しましても5年後の高齢化率が50%に到達するという超高齢化地域となり、少子化も深刻な問題となっております。そのような少子化と並行して子育て・教育環境は大きく変わろうとしています。美方郡地域の子育て世代の忌憚のない意見を聞き、さらにはまちづくりへと生かすことが必要と感じています。

去る2月24日、美方郡地域の小学校以下PTA、保護者会代表者様の意見、要望等グループ討議によりまとめております。将来のまちづくりへの一助となることを目的に提言書を提出いたします。

2. 事業名 子育て世代まちづくり懇話ミーティングと称し、グループ討議を開催

3. 開催日 平成30年2月24日(土) 午前9時30分～午前12時

4. 場所 新温泉町温泉総合支所2階 集会室

5. 内容 グループ討議による美方郡地域の教育、保育等意見集約

6. 出席者 参集範囲 … 香美町、新温泉町の小学校以下のPTA、保護者会代表
香美町議会議員、新温泉町議会議員、香美町、新温泉町
美方青年会議所 出席者合計 26名

□各地域のPTA等代表者出席数(名)

区分	香住	村岡	小代	温泉	浜坂	合計
保育園		4				4
幼稚園(認定こども園)	2			1		3
小学校		2		1	2	5
合計	2	6	0	2	2	12

□関係者の出席数（名）

名 称 等	出席者数
香美町議会議員	2
新温泉町議会議員	4
香美町教育委員会 生涯学習課	1
新温泉町教育委員 会生涯教育課	1
美方青年会議所	6

7. タイムスケジュール

司会：美方青年会議所 事務局

開始時刻	分	内容
9：30	5	開会、あいさつ
9：35	15	趣旨説明、ミーティング説明、第1部テーマ説明
9：50	30	自己紹介、グループ討議、まとめ
10：20	15	発表(5G×3分)
10：35	15	投票、まとめ
10：50	5	休憩(5分間)
10：55	5	第2部テーマ説明
11：00	30	グループ討議、まとめ
11：30	15	発表(5G×3分)
11：45	15	投票、まとめ
12：00	5	閉会
12：05		終了予定時刻

8. 討議テーマ

2部構成で討議を進行した。

(テーマ1) 育つ・育てるについて

自分が子供だった頃、教育を受けていた時、自分の経験の中で、こんな教育・勉強・体験が自分の中で今も生きていること

(テーマ2) 教育、子育てについて

1年間各代表を通じて感じた今の教育、保育環境への悩み、改善点、提案等

9. 討議のすすめ方

「プランクシステム」 という手法により、参加者による討議の整理、発表、賛同できる意見への投票をおこなった。

(1) 小グループで意見交換

①1 グループを 4～5 人とし、参加者を小グループに分ける。

※町単位でグループ設立した。

②1 グループ内でそれぞれ参加者で役割を決定。

- ・進行役
- ・書記(意見集約後のまとめを記載)
- ・発表者

③役割を決め、それぞれが自分の思う意見を付箋紙に書いて討議ボード（模造紙）に貼る。

この付箋をもとに話し合い、意見をまとめた。

④意見を分類し、最終のまとめに入る。

(3) 各グループ発表・投票

各グループで順番に発表し、同意する意見に投票。

※他グループの意見に投票してもかまわない。

1 枚のみならず投票は、何枚でも可能。

(1つのまとめに対し1人が3枚のシールを投票、模造紙に貼付け)

討議ボード（模造紙）

グループ	メンバー
〇グループ	テーマ ○○○について
付箋	
まとめ1	●●●●●
まとめ2	●●●●●
残したい意見	
5ポイントのシール ●●●●●	

10. グループ討議の結果

(1) 小グループの形成

当日の出席者は、計 12 名となったため、下記グループ分けを実施。

A、B グループ … 香美町 各 4 名ずつ ※ランダム

C グループ … 新温泉町 4 名



第 2 テーマより、各町議会議員様も参加頂き、町民の声を聞いて頂いたり、討議を頂き、最後、まとめと投票にも参加頂きました。



(2) 討議結果

テーマ1 「育つ・育てる」について

自身が、受けてきた教育や、育った環境でどんなことが今の自身に影響があったか、大切だったかといった内容について討議。

グループA 香美町	討議での個人意見	
	<ul style="list-style-type: none">● 兄弟学級 学年を問わず仲良くなれる。● 部活 時間制限、運動1人でも×ならやり直し。チームワーク、まとまり力● 登校後、朝の運動時間があった。(ポイント制だった)皆で競って色々な運動を楽しんでいた。 ● 山の中の学校だったので自然にふれあう機会が多かった。体力がついた。● 半ズボン教育が今の忍耐力を作った。● お前はやったらできる！の先生のことば信じて頑張れた。 ● 子供の人数が多かったから様々な年齢の子供と交流できた。● 知らないおじさんに悪いこと怒られる。地域のつながり、知らない子供を叱る。 ● 家庭保育 親子の時間がたっぷりとれた。	
まとめ、投票	内 容	投票数
まとめ1	先生の厳しい指導が今の心と体を作ってくれた。	4
まとめ2	集団行動やルールの徹底で仲良く楽しくまとまりある集団になれた。	1
まとめ3	地域の人数が多かったので地域全体で子育てやサポートができた。	6
残したい意見	主婦や退職された高齢者が多かったから子育てしやすかった。	—

グループB 香美町	討議での個人意見	
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ならではのこと 毎日海水浴(公園もなく、海が近かった。) ● 保育園庭、校庭、神社が公園替わり ● 地区のこども会行事、近所の子と遊ぶ。 ● 遠泳 3km(小学校 4~6 年) ● 小学校の研究(体育)なわとび検定、竹馬検定、裸足で朝マラソン ● マラソン大会が野を超え山を越え ● 中学校 全校生陸上練習参加、陸上大会参加 ● 部活動(中学校、高校)、習い事(先生とのふれあい)、少年野球 ● 小学校の社会授業(調べて発表して進めていく。動機つけて出会い、体験) ● 何事もチャレンジ、協力しあうこと ● 地域住民との地域特産品を使った交流会(魚料理等) ● スキー、雪像づくり ● ボランティア活動 		
まとめ、投票	内 容	投票数
まとめ1	地域資源を生かした体験。(海水浴、スキー、雪像づくり、三世代交流そば会)	8
まとめ2	将来の人間性の広がりにつながる習い事。	2
まとめ3	やる気を出させてくれる指導者とのめぐり会い(教師、仲間、監督、コーチ)	4
残したい意見	ボランティア活動	—

グループC 新温泉町	討議での個人意見	
<ul style="list-style-type: none"> ● 自然や屋外での遊びを多くしていた。(野球、ビー玉等) ● 遊ぶ時間多かった。地区にたくさん子供がいて遊んでいた。 ● 色々な自然に接する機会が多かった。 ● ナイフやノコギリを使った工作や作業をしてケガをした。 ● やさしくすることも大切だが、厳しさも必要。 ● 近所の大人に怒られた。 ● 地域で親子の間が近く、仲が良い。 ● 今は、親が遊び相手、昔より親子の間が近い。 ● 親は表に出なかった。 ● 祖父、祖母と過ごす時間。 ● 習い事 ● 昔より、いろいろな場所へ連れていく事が簡単になった。 		
まとめ、投票	内 容	投票数
まとめ1	外で遊ぶことが大事	7
まとめ2	家族の関係は近くなったが、地域の関係が薄くなった。	3
まとめ3	習い事が増えたが、実体験の方が大事。	1
残したい意見	厳しさが必要。失敗を責めない。	—

テーマ2 「各町の教育、保育関連政策」について

参加頂いた方は各地域のPTA、保護者会の代表、役員であり、この1年間務められた中で、子育て、教育、町づくりや政策について要望、改善点等について討議。

グループA 香美町	討議での個人意見	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校統合、こども園、保育園、幼稚園どうするのか。 ● 土日の子育てセンター。 ● 安全に登下校、通園する仕組み(雪道の除雪、スクールバス)。 ● 公園、図書館、病院(小児科)があってほしい。 ● 休日行くところがない。町外で過ごすことが多い。遊べる屋内施設がない。 ● 遊べる場所あっても行きにくいところ。 ● AED 設置を表記。 ● 明星認定こども園の床暖房が素晴らしい。 ● 親が基本的な教育(しつけなど)を園や小学校に任せすぎ、園や小学校が負担に思いすぎ。 ● 保育園に入園しやすい、保育料も近隣に比べ安い。もっと町外にPRして人口増にすれば良い。 	
まとめ、投票	内 容	投票数
まとめ1	休日や悪天候の時に遊べる屋内施設が欲しい。	9
まとめ2	安全に登下校できる仕組み作り(スクールバス、通学路の除雪)	3
まとめ3	安心して子育てできる環境作り(病院、図書館など)	9
残したい意見	保育料も安く入園しやすいことをもっと町外にアピールして移住者を増やすようにしてほしい。	—

グループB 香美町	討議での個人意見	
<ul style="list-style-type: none"> ● 教育に係る予算や支援事業を up。 ● 未満児を入園させて働くのが良いのか？もっと金銭支援が必要。 ● 保護者の負担(学校関係 PTA 等)費用面で ● 休日遊ぶところがない。公園がほしい。村岡 ● 文化的な環境の整備が必要(勉強のできる大きな図書館、文化ホールなど) ● 小さな子供が病気になった場合、離れたところの病院へ行かなければいけない。 ● 産婦人科、小児科受診が休日できにくい。 ● 子育て世代のふれあいをすべき。母親が元気だと良い。 ● 子育て支援、50%高齢化社会、重点はどっち？ ● 空き家の家賃 ● 同級生が少ない。同級生が 10 人を切ってほしくない。 ● 教育水準が落ちた。 ● 幼稚園のぼうし。 ● 気象警報発令時の学童。子育て支援センターの有効活動 ● PTA 活動がきつい。 ● 登園、幼稚園児が歩く地区に小学生がいない。 ● 保育園、幼稚園、小学校の統合について意見や議論の場、情報提供をもっと必要。 ● 認定こども園要望したい。保護者の意見にもっと耳を傾けるべき。 ● 保育園統合して、その後幼稚園でまた分散。子供の心情かわいそう。 		
まとめ、投票	内 容	投票数
まとめ 1	子育て世代にかかる固定経費を無償化する等で人口確保、出生率増加をねらう。	3
まとめ 2	住みやすい環境整備(現状、空き家の家賃が高いので助成を)	4
まとめ 3	定期的に教育関係の議論の場を設け、保護者の意見を反映した町づくりを(地域住民、子育て世代、行政関係)	9
残したい意見		—

グループC 新温泉町	討議での個人意見	
<ul style="list-style-type: none"> ● 出生数 80 人 小学校のあり方、将来の進路への不安 ● 子育てには手厚くなってきたが、子育て仲間、友達作りもできると良いと思う。 ● 各地区の公園をなくし、大きな公園を作ってほしい。(遊具がない) ● 遊べる環境整備が必要。中途半端な施設ではなく。公園、スポーツ施設等 ● 歩道がない。 ● 空き家を活用した住宅新規居住者支援 ● 公営の住宅が少ない。公営マンション、アパートの増設で人口流出を防ぐ。 ● PTA、公民館活動、青推協、スポーツ 21 と行政の協力 ● PTA への支援(学校施設管理は PTA、施設管理者どっち?) ● 3 歳になるまで有給の制度。 ● こども園、小学校の先生の大変さを知り、心と体が心配。 		
まとめ、投票	内 容	投票数
まとめ 1	中途半端な施設でなく大きな公園(遊具)	5
まとめ 2	各学校単位 PTA 活動への支援	2
まとめ 3	居住環境の充実	4
残したい意見	こども園、学校の先生は大変だ!	—

11. 総評

(1) テーマ1 「育つ・育てる」について

参加者自身が、受けてきた教育や、育った環境でどんなことが今の自身に影響があったか、大切だったかといった内容について討議しました。

以前は、地域住民との関わりも多く地域全体での子育て、教育が環境的に行われてきていました。近年では、少子化により子供の遊ぶ姿も少なくなってきました。また教育への関心も高まり、習い事等へシフトし子供が遊ぶ時間も減少しているのではないのでしょうか。そのような環境の中、地域住民との交流による教育、子育てを今一度、見直しを図るべき時期になっている様に感じました。

(2) テーマ2 「各町の教育、保育関連政策」について

出席者は各地域のPTA、保護者会の代表、役員であり、この1年間務められた中で、子育て、教育、町づくりや政策について要望、改善点等について討議しました。

まず、保育園、幼稚園(認定こども園)、学校の統合については、香美町、新温泉町含め将来の少子化を懸念し、少人数での教育への不安が大きくなります。特に香美町では、村岡区の保育園統合に向かっている中、認定こども園化の希望、小学校の行く末(統合)も大きく不安視をされています。保育園統合問題での説明会を開催されましたが、もっと保育園の枠を超えた教育に関する情報提供や、意見交換する場の設定を強く求められています。この事案について多数の投票結果となりました。

さらに、ハード面での要望が強くなっています。環境整備として、雨天でも遊べる大きな公園、図書館等の教育環境設備の設置が各町ともあり、休日では、町外へと外出が多くなるとの環境整備に対する意見もあります。

小児科の配備といった課題もあがり、過疎化地域の医療では大きな問題となります。特に乳幼児保育の面で、突発的な傷病は付きもので対応のできる医療環境は必要と感じます。美方郡地域では、過疎化により医療環境の充実も大変な課題となりますが、少子化の歯止めをかけるための必要不可欠な事案であります。

12. 提言

教育に関して様々な課題が意見され、投票結果を受け下記のとおり提言いたします。

(1)各地域では、地域内交流が盛んに行われていますが、教育との結びつきが希薄ではないでしょうか。将来の地域保全や活性に結びつけるためには、高齢者の教育観、地域での学習(しつけ、歴史等)を充実させ、集落内へ教育が落とし込める仕組みを構築しなければいけません。

(2)保育園、幼稚園(認定こども園)、学校の少人数での教育に対し不安が大きくなりました。そのため教育に関する情報提供など町民と行政の意見交換する場の設営が必要です。今後の教育へ向けて、より町民との意見を交える場の設置をお願い致します。

(3)ハード面では公園、図書館等の教育環境設備の設置が各町ともに強い要望があります。既存設備の修繕、充実を図ることに強いニーズがあります。

(4)乳幼児保育面で、小児科の配備といった要望もあり、過疎化地域の医療では大きな問題となります。突発的な傷病はつきもので、対応のできる医療環境の配備は必要不可欠です。保育環境の充実が、子育て世代の町外流出を防ぐものとなります。

美方郡地域の子育て世代のニーズは、将来のまちづくりに重要な意見、宝となります。この少子高齢化、人口過疎化地域で、将来何が本当に必要なのか、求められているのかあらためて考え知るものであります。

今回、美方青年会議所では、初めて子育て世代の討議会を開催いたしました。町民自らの生の声、願いを多岐にわたりお聞きすることができました。今回は提言として、上記のことを各町へつなげ、今後も引き続きこのような機会の設営、より良い町づくりを目指していきます。

以上